

2021 年度 第 1 回 世話人会 議事録

2022.2.18 服部昌樹 記

日時 : 2022 年 2 月 18 日 9:25 - 10:15
会場 : 藤沢公民館 2F B 室
出席者: 今村・石谷・大岩・佐藤(眞)・近岡・細谷・守谷・山越・服部
その他 オブザーバー出席 5 名

内容

1. 21 年度 同窓会総会について

服部からコロナの感染の広がりを見ると今年も昨年と同様に総会は開催しない事にしたい旨提案があり同意を得た。コロナ感染状況が 3 月末までに大きく好転すればその時検討する。

2. 21 年度決算案・22 年度予算案について

服部から 22 年度予算には「総会」を実開催(2023 年 3 月)するとして会場費・印刷代・懇親会補助を計上してあるとの説明があった。予算のうち HP 維持費摘要欄の対象年に間違いがあるとの指摘があり訂正。

会計担当 今村さんから、保有残金 71483 円の現金の提示・確認があった。

3. 21 年度活動報告と 22 年度の活動計画

コロナ過により、クラブや班活動が鈍っていること、来年度計画も立てられないことから、例年作っている「今年度報告・来年度計画表」は作成しないことで同意を得た。

4. 来年度世話人の確認

代表・会計・HP 担当、各世話人の継続を確認した。HP 担当・会計・代表の後継者が課題として残っているも特段の策はです。

5. 同窓会の将来について

服部から「入間連協」の現状について、8 期の HP などから「入間連協からはほとんどの期が脱会し、6 期・7 期のみで継続している」ようだと説明があった。

卒業後 5 年を経過して（2017 年 3 月卒）、コロナ蔓延下の特殊事情があるが、活動を続けるクラブ・班は限られてきた。昨年提起したように、数年以内に「同窓会」を解散して、活動的なクラブ・サークルが単独で生きて行く道を探る事になるのではないかと話題提供があり。同窓会の終結についていろいろの意見がでた。特に HP について、解散後も継続してもらいたいが、誰がどのようにして管理を担って行けばいいのか、たとえば、有志のグループを作り継続して行くなどの意見が出た。また、HP に残る投稿やレポートなどの記事を、「同窓会」がなくなったあと、一部の誰かが継続して保存・保有する事の可否など議論するも今回は結論出ず。

また、同窓会解散にむけて、残余資金について、毎年減らして行けばいいのか、一度に使ってしまえばいいのかなど、意見の交換を行った。

ともあれ、現状のまま、今後 5 年以上継続することは難しいという意見が多かった。

以上